

ともに学ぶ。考える。 インターネット安全教室



インターネットサービスの利用が日常になった今、ネットに関わるトラブルや犯罪への対策の必要性が高くなっています。弘前大学×青森県警察本部では地域全体のネットリテラシーの向上を推進するため、情報モラル、情報セキュリティを「ともに学び、考える」ことを目的とした「インターネット安全教室」を、地域のサイバー防犯教育に係る指導者や監督者、保護者の方々、サイバー防犯教育に興味のある大学生や教職員または地域住民の方々を対象として開催いたします。※当該事業は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）との共催事業です。

令和2年

日時

2月17日(月)

14:00～16:00 (開場13:30)



会場

弘前大学創立50周年記念会館2階
岩木ホールA 青森県弘前市文京町1

講座
対象

青森県警察サイバー防犯ボランティア委嘱学生、本学学生、教職員、警察関係者、教育関係者、行政関係者、サイバー防犯活動に興味のある一般の方
定員は**50名** 参加費は**無料**、申込は**不要**です。

ご不明な点がございましたら下記お問合せ先までご連絡ください。
講座の詳細についてはホームページをご覧ください。

弘前大学ボランティアセンター

TEL:0172-39-3268 E-mail:huvc@hirosaki-u.ac.jp

WEB:<http://huvc.net/> (右記QRコードからアクセスできます)



本講座では下記プログラムに沿って、様々な教材を用いた講義が行われます。
本教材は講義終了後に皆様の活動にご利用いただくことができます。

小学校4～6年向け「SNSとのつきあい方」【教材例】一部抜粋

SNSでできること

インターネットの仕組みを使って



IPA 写真や動画を世界中に公開

ふり返ってみよう



IPA

こ人じょうほうが広がると

・家や学校が知られてしま
・顔写真を勝手に使われる
・めいわくメールやメッセ
送られてくる。

みなさんの年れいはとてもねらわれ
といえます。
自分をしっかり守りましょう。

IPA

かん全に消すのはむずか



IPA SNSに書きこんだものは
「のこる」ことを意識し

まとめ
SNSへの書きこみは、
ネットとうこうです。

じょうほうは広がります。
のこります。



IPA

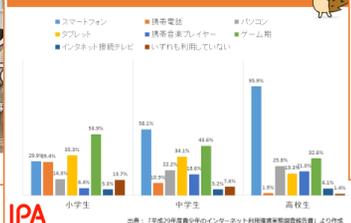
保護者向け「フィルタリング・ペアレンタルコントロール」【教材例】一部抜粋

動画を見てみましょう。



IPA

青少年が利用するICT機器



IPA

保護者ができることは？

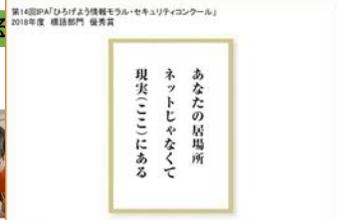
- ①ICT機器の所有者、責任者を明確に！
 - ②ペアレンタルコントロール
フィルタリング
ルール作り
子どもと話し合っ
て設定する
 - ③利用用途を把握する
- コミュニケーションが大切です！

IPA

子どもも大人も一緒に考える



IPA



IPA

※スライド イメージは変更の可能性もございます

★プログラム120分★

◆はじめに～本事業のねらい～

◆情報提供

1. ネット社会における子どもたちの現状
2. ネットリテラシー啓発の重要性
3. 情報モラル、情報セキュリティとは
4. 各教材の紹介

◆模擬授業及び映像教材の視聴

1. SNSとの付き合い方
2. フィルタリング・ペアレンタルコントロール

◆グループワーク

ワークショップ及びブレインストーミング（※テーマは当日発表します）

◆総括

1. 問題発生の対応策
2. 教材のダウンロード方法や使用方法について

◆質疑応答・アンケート記入

※プログラムの内容は変更する可能性がございますのでご了承ください。

講師：インターネット安全教室事務局

(株)教育ネット ネットリテラシーアドバイザー 宮川麻子



【インターネット安全教室に関するお問合せ】

IPAインターネット安全教室事務局（株式会社教育ネット内）

専用電話:045-530-9047

E-mail: net-anzen@ipa.go.jp

専用FAX:045-330-6122

公式サイト: <https://ipa.edu-net.co.jp/>

